



私は、三原の人たちが協力し合う町になってほしいです。その理由は三つあります。

一つ目は、災害が、起きた時にみんなで協力し合うと良いと思ったからです。例えば、地震や台風によって家が壊れた時には、協力することがとても大事です。二つ目は、一人でできないことでも、みんなで協力し合えばできることがあります。例えば、三原にはやさ祭りがあります。しかし、祭りは一人ではできません。こんな時に、みんなでいっしょに祭りに参加できると元氣が出ると思います。

三つ目は、市民運動会で協力したら良いと思います。三原市の中には小さな町がたくさんありますが、いっしょに会うことがあまりできません。市民運動会に協力すると、もっと会う機会が増えます。そうすると、知り合いが増えて楽しくなります。

このように協力し合うと、みんなが仲良くなり町が元氣になります。元氣になると、町が盛り上がり、他の市からお客さんもやってきて、今以上に町が活気づくと思います。だから、私は三原の人たちが協力し合う町になってほしいと強く願っています。

わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します

—連載第1回—

佐木島には、いいところがいっぱいあります。たとえば、海や山の自然がきれいなところです。塔のみね千本桜や港の見える丘公園は景色がいいです。もうめったに見られなくなった四枚羽のチョウトンボがいます。島の特産物は、みかん、メロン、わけぎがあります。ほかにもあります。それは、島の人たちのことです。五十年前に、第五北川丸という船が、向田地区の沖でちんぼつしました。その時、佐木島の人たちが、見ず知らずの人を一生けん命助けました。助けた人は、近所にもいます。ぼくは、勇氣がある行動だと思います。

佐木島は、豊かな自然がいっぱいあり、みんなが助け合ういい島です。

佐木島につくってほしい物があります。それは、須波町と佐木島をつなぐ橋です。自然をこわさずに橋や道路をつくってほしいです。なぜかというと、橋ができれば、島にいろいろな人が来て、島に住んでくれるかもしれないからです。そうして、この佐木島を、もっと人がいてにぎわう島にしたいです。

